

## 武里南地区公民館・武里大枝公民館

### ◇ 運営の基本方針

生涯学習の拠点施設のひとつとして、市民の学習要求に応える事業及び情報の提供を行う。

### ◇ 重点施策

- 1 きめ細やかな学習の場と情報を提供する。
- 2 家庭教育の充実を図る。
- 3 地域住民の健康増進と住民相互の交流を図る。

### ◇ 重点事業

- 1 子育てふれあいサロン
- 2 武里団地体育祭
- 3 体験講座
- 4 武里団地音楽鑑賞会

#### 武里南地区公民館

所在地 〒344-0023 春日部市大枝89番地武里団地7街区5棟

TEL 048-736-8104

FAX 048-736-8104

E-mail takenankou@city.kasukabe.lg.jp



#### 武里大枝公民館

所在地 〒344-0023 春日部市大枝89番地武里団地2街区1棟

TEL 048-737-8022

FAX 048-737-8022

E-mail ohedakou@city.kasukabe.lg.jp



武里南

職員	館長(兼務)	島田敬
	主査(兼務)	古岩井仁寿
	主任(兼務)	高橋憲和
	主事(兼務)	福島結衣(社会教育主事)
	フルタイム(兼務)	薄田武一

事業名 テーマ	クラブ・サークル連絡会	対象	公民館利用者及び利用予定者	定員	各団体1名		
ねらい	公民館の適正な利用と円滑な運営について考える。						
協力機関及び団体		特色 位置づけ		SDGs の目 標No	11		
会場	武里大枝公民館 講堂	教材 資料等	会議資料				
実施までの経過	12月 1日(水)公民館だより発行 12月12日(日)開催通知配布開始 1月 4日(火)公民館だより発行 1月22日(土)事業実施	PR方法	公民館だより12月号・1月号に掲載 公民館利用団体へ開催通知				
		受付方法	事前申込受付				
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計	
1月22日(土)	10:30～11:30	クラブ・サークル連絡会 ・公民館の利用方法について ・その他  参加団体数 大 枝:25団体 武里南:18団体 計:43団体	説明 協議	21	22	43	公民館職員
1回	60分			21	22	43	
企画運営上の工夫	・利用サークルに開催案内が行き渡るように、早い時期から窓口で開催通知を渡した。 ・人権教育研修会と同時開催することにより、多くのサークルに参加してもらうよう努めた。						
成果参加者の声など	・参加者から、入口付近のサークル紹介コーナーなどについて、好意的な感想が寄せられるなど、サークルの方の意見を聞くことができる貴重な機会となっている。						
課題と展望	クラブ・サークル連絡会は、普段から利用しているサークルの方々の参加が大半を占めているため、抽選申込み方法や利用上の注意点については既に把握しているが、再確認のためには説明会を継続し参加していただくことが必要である。今後も、人権教育研修会や防火訓練などを連続して行うことにより、多くの参加者を得るよう努める。						

事業名 テーマ	人権擁護事業 人権教育研修会		対 象	公民館利用者等 及び団地住民		定 員	各団体1名	
ね ら い	自分らしく生きられる社会を目指し、他者との違いを理解して、人権が尊重されることを 市民により深く理解してもらうことを目的とする。							
協力機関 及び団体			特 色 位置づけ			SDGs の目 標No	10・11・16	
会 場	武里大枝公民館 講堂		教 材 資 料 等	レジメ(講師用意)、次第、アンケート				
実施まで の 経 過	9月17日(金)講師依頼 12月 1日(水)公民館だより発行 12月12日(日)開催通知配布開始 1月 4日(火)公民館だより発行 1月22日(土)事業実施		PR方法	公民館だより12月号・1月号に掲載 各クラブ、サークルに開催通知配布				
			受付方法	事前申込受付				
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回 数	総時間数			男	女	合計		
				計	計			
1月22日(土)	10:00～10:30	人権教育研修会 「高齢者が差別のない安心 して暮らせる地域社会を めざして」	講演	21	22	43	田村 育三	
1回	30分			21	22	43		
企画運営上 の 工 夫	・利用サークルに開催案内が行き渡るように、早い時期から窓口で開催通知を渡した。 ・より多くの参加者を募るために、クラブ・サークル連絡会と同時開催とした。							
成 果 参 加 者 の 声 な ど	「内容が身近なことで、共感できた。」、「近くに住む方が講師となっていたので、 より実感がわいてよかった。」との声があり、普段見過ごしている人権を身近なものとして 意識する一つのきっかけとなった。							
課題と展望	・早い時期から開催通知を窓口で手渡すなど、周知期間の確保に努める。 また、より多くの参加者を募るため、クラブ・サークル連絡会や防火訓練を同時に実施 する。 ・今後も、参加者の興味に沿ったテーマを設定し、人権尊重の意識啓発に努める。							

## 武里南地区 3

事業名 テーマ	青少年健全育成事業 ① 夏休み科学教室 ② 子ども司書講座 ③ クリスマスおはなし会		対 象	① 小学1～6年生 ② 小学3～6年生 ③ 3歳からと保護者		定 員	① 20名 ② 3名 ③ 16名	
ね ら い	工作などの製作や職業体験を通じて、子どもたちの好奇心や情緒、感性を養うとともに、同年代の人と触れ合いを深める機会とする。							
協力機関 及び団体	共催:② 武里図書館 協力:① おもしろ彩エンスクラブ		特 色 位置づけ	③ クリスマス企画 として開催		SDGs の目 標No	4・11・17	
会 場	① 武里大枝公民館 研修室 ③ 武里大枝公民館 研修室 ② 武里大枝公民館 和室		教 材 資 料 等	① 講師が用意した資料・教材 ② ③ 共催先が用意した資料・教材				
実施までの経過	① 5月9日(日) 講師依頼、以降メールで随時打合せ ② 6月18日(金) 講師依頼 ③ 9月26日(日) 講師依頼		PR方法	公民館だよりに掲載				
			受付方法	① 事前申込制 ② ③ 武里図書館にて事前申込制				
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計		
① 7月31日(土)	10:00～12:00	「鏡の科学で七変化☆ 万華鏡をつくろう！」 武里子ども司書講座 クリスマスおはなし会	実習	11	2	13	おもしろ彩エンスクラブ 小林久美恵	
② 11月14日(日)	13:00～16:00		実習	0	2	2	武里図書館	
③ 12月18日(土)	15:00～15:40		鑑賞	5	10	15	武里図書館	
3回	5時間40分			16	14	30		
企画運営上の工夫	事前申込み制での参加者の把握や、当日のイス・座布団の配置を工夫し、参加者同士の密を避けた。部屋ではサーキュレーターを複数台用い換気を効率的に行い、新型コロナウイルス感染防止の対策を行った。							
成 果 参加者の声など	① 毎年教材とテーマを変えることで満足度の高い教室となった。アンケートでは「また次回も参加したい」との声が多く上がった。② 座学のみならず、実際に武里図書館での本探しや貸し出し等の職場体験をしたことで、「本だけでなく図書館そのものへの関心が高まった」という声をいただいた。③ 絵本の読み聞かせ、紙芝居、人形劇とバラエティーに富んだプログラムで、最後にクリスマスプレゼントもあり、子どもたちにも楽しかったと好評であった。							
課題と展望	地域の人材を活用し、多種多様なプログラムを企画していくことが重要である。今後も地域の人材の活用と新しいアイデアを取り入れたプログラムを考えていきたい。							

事業名 テーマ	幼児家庭教育学級 子育てふれあいサロン		対 象	0～5歳児と保護者		定 員	10組又は20組		
ね ら い	育児中の親子が集う場で、子どもを遊ばせながら育児の不安や悩みなど子育てについておしゃべりするなど、参加者のコミュニケーションの場とする。								
協力機関 及び団体	武里団地地区民生委員・児童委員協議会 更生保護女性会 子育て支援サークル(子育て応援団ゆめ色)			特 色 位置づけ	重点事業		SDGs の目 標No	3・11・17	
会 場	武里南地区公民館 和室(大)、大会議室			教 材 資 料 等					
実施までの経過	公民館だよりへの掲載に間に合うよう講師依頼・打合せを毎月実施			PR方法	公民館だよりに掲載・市広報に掲載・子育て情報メール配信・ポスター・チラシ作成				
				受付方法	事前申し込み				
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職 名 氏 名		
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計			
4月21日(水)	10:00～11:30	アコーディオンの音色とともに絵本の読み聞かせ	体験	2	18	20	春日部アコーディオンサークル		
5月19日(水)	10:00～11:30	心を育むふれあい遊び		0	14	14	山田 優子		
6月16日(水)	10:00～11:30	エンジョイリトミック♪		3	16	19	森田 美那子		
7月21日(水)	10:00～11:30	春日部子育て支援センター出前講座		3	10	13	春日部子育て支援センター		
8月18日(水)	10:00～11:30	親子フラ		4	11	15	カワオクブ アエカアホアニ		
9月15日(水)	10:00～11:30	ちびっこ運動会			中止		子育て応援団ゆめ色		
10月20日(水)	10:00～11:30	紙芝居とプチ工作		4	13	17	人形劇サークル ポケット		
11月17日(水)	10:00～11:30	マジック		5	15	20	春日部マジッククラブ		
12月15日(水)	10:00～11:30	サンタと遊ぼう！！		6	29	35	山森 澄子・山田 優子		
1月19日(水)	10:00～11:30	ピエロさんと遊ぼう！		5	15	20	安藤 茂雄		
2月16日(水)	10:00～11:30	ウクレレミニコンサート♪			中止		ウクレレサークルホヌ		
3月16日(水)	10:00～11:30	赤ちゃん抱っこフラ			中止		由利 明美		
9回	13時間30分				32	141	173		
企画運営上の工夫	・参加者を増やすための取り組みとして、子どもや保護者に楽しめる企画を毎月実施した。 ・講師は前年度を参考に、サークル団体、武里図書館の方々に協力を依頼した。 ・開催にあたっては、事前予約制とし、受付での検温、手指アルコール消毒を徹底した。講師を含め参加者全員(乳幼児を除く)がマスクの着用と3密の回避を図りながらの実施となった。								
成果 参加者の声など	・参加者は常に安定しており、毎月の企画を楽しみに足を運んでくださる方が多い。 ・参加者が企画を通して楽しい場を共有することで、自由時間では自然と会話が生まれ、参加者同士の交流に繋がっている。 ・毎月のアンケートにて「ありがとうございます。」「コロナに負けず頑張ってください。」等の声を頂き、子どもと保護者共に開催を楽しみにして頂いている。								
課題と展望	・子育ては子どもと保護者との交流の場が無ければ孤立化してしまう恐れもあるため、子育てふれあいサロンは悩みや情報交換の場の提供としてもとても大切な役割であると考えている。そのため、魅力ある企画を提案していく必要がある。 ・地域の人材を活用して子どもと保護者で楽しめる企画を行うことは、公民館が子育てふれあいサロンを行う上で大切なポイントだと考える。毎年、同じ企画にとらわれず、今後もさらなる子育てふれあいサロンの充実のため、地域の人材発見に尽力したい。								

事業名 テーマ	体験講座 ① 武里南「出会いの広場」 ② ロコモヨガ体験会	対象	一般	定員	① 事業により異なる ② 20名	
ねらい	体験を通して学習し、技術の向上及び地域住民の交流を深める。					
協力機関及び団体	① ウクレレヴィレッジ、タートルズ、フラ・モアニ	特色 位置づけ		SDGs の目 標No	4・11・17	
会場	武里南地区公民館	教材 資料等				
実施までの経過	① 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 ② ・1月15日(金)講師依頼以降メールで打合せ ・4月 8日(木)第1回目実施 ・4月22日(木)第2回目実施 ・5月13日(木)第3回目実施	PR方法	公民館だよりに掲載			
		受付方法	電話申込み(先着順)			
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者		講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男 計	女 計	
4月30日(金)	14:00～15:00	① スプリングコンサート(中止)	体験			ないすはつつ
5月30日(日)	14:00～15:00	① ウクレレ・フラの集い(中止)	体験			タートルズ・ウクレレヴィレッジ・モアニ
4月8日(木)	13:00～15:00	② ロコモヨガ体験会	体験	0	8	8 全国YOGAインストラクターシャオ・レイ
4月22日(木)	13:00～15:00	② ロコモヨガ体験会	体験	0	9	9 全国YOGAインストラクターシャオ・レイ
5月13日(木)	13:00～15:00	② ロコモヨガ体験会	体験	0	5	5 全国YOGAインストラクターシャオ・レイ
3回	6時間			0	22	22
企画運営上の工夫	・親しみやすく人気のあるヨガを通じ、健康の維持を図るとともに仲間づくりの場を提供した。 ・サークルの立ち上げを視野に定期的に複数回開催した。					
成果 参加者の声など	「ヨガに興味はあるが実際に体験する機会がなかったので貴重な時間だった」、「ヨガのレベルは高そうなのに親しみやすかった」と好評で、参加者からは引き続き定期的な実施を望む声があることから、公民館が講師と参加者の調整を行い、サークルの立ち上げを行った。					
課題と展望	体験型講座は、実際の体験を楽しめるだけではなく、同じ興味を持つ地域の人が集い仲間づくりの場を提供する役割を持っている。今後も、交流の場とを提供できるよう魅力ある講座を企画するよう努める。					

事業名 テーマ	武里団地体育祭	対象	武里団地在住の方	定員	種目ごと			
ねらい	スポーツ・レクリエーションを通じて、地域住民の交流と親睦を深めるとともに、健康の維持・増進と体力の向上を図る。							
協力機関 及び団体	主催:武里団地自治会協議会、5街区町会、武里大枝公民館、武里南地区公民館	特色 位置づけ	重点事業 体育の日直近の日曜日に開催	SDGs の目標No	3・11・17			
会場	武里南小学校 校庭	教材 資料等						
実施までの経過	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	PR方法						
		受付方法						
月日(曜)	時間	内容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
				男	女	合計		
回数	総時間数			計	計			
0回	0時間			0	0	0		
企画運営上の工夫								
成果 参加者の声など								
課題と展望								

武里南地区 7

事業名 テーマ	武里団地文化祭	対象	利用サークル及び地域住民	定員	定めず		
ねらい	公民館利用者の学習成果を発表し、利用者相互の交流及び親睦を深めるとともに、地域住民の公民館活動への理解を深めることを目的とし、地域住民のふれあいの場とする。						
協力機関 及び団体		特色 位置づけ	重点事業 土・日曜日開催	SDGs の目 標No	4・11・17		
会場		教材 資料等	プログラム 参加サークルの作品				
実施までの経過	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	PR方法					
		受付方法					
月日(曜)	時間	内容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男 計	女 計	合計	
0回	0時間			0	0	0	
企画運営 上の工夫							
成果 参加者の 声など							
課題と展望							



事業名 テーマ	レクリエーション・スポーツ ① ユニカール ② 春日部えんJOYトレーニング ～ご近所型介護予防～		対 象	地域住民		定 員	特に 定めず
ね ら い	コミュニティーの促進及び健康維持						
協力機関 及び団体	① 武里団地自治会協議会 ② 健康寿命を伸ばす会		特 色 位置づけ	重点事業		SDGs の目標 No	3
会 場	武里大枝公民館 講堂		教 材 資 料 等				
実施ま での経 過	① 自治会との協議の結果中止 ② 【公民館だよりに掲載】毎月 【受付申込】事前申込み		PR方法	公民館だよりに掲載			
			受付方法	② 春日部市第6地域包括支援セン ターに電話または窓口にて申し込 み			
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計	
① 月1回程度		中止					
② 毎週金曜日	15:00～17:00	春日部えんJOY トレーニング ～ご近所型介護予防～ (毎週金曜日)	実習	213	1,132	1,345	健康寿命を伸ばす会
35回	70時間			213	1,132	1,345	
企画運営上 の 工 夫	② サークルや団体に所属していない人でも、地域の中で介護予防ができるよう通年事業として実施した。また、市民の自主的なトレーニング活動として、運営協力者であるサポーターの養成も含めて行った。						
成 果 参加者の 声 など	② ほぼ毎週定期的に実施したことで1年を通して多くの参加者があり、気軽な健康維持の機会を提供することができた。						
課題と展望	今後は、開催会場がゆつく武里に変更となるが、引き続き地域の介護予防に取り組んでいきたい。						

事業名 テーマ	教養講座 ①「オレンジカフェ」 ② 介護者交流サロン「福」	対象	団地住民	定員	① 20名 ② 定めず		
ねらい	身近な課題を取り上げ、教養の向上、健康の増進、情操を養うことを図ることを目的とする。						
協力機関 及び団体	春日部市第6地域包括支援センター	特色 位置づけ		SDGs の目 標No	3・4 11・17		
会場	武里大枝公民館	教材 資料等					
実施までの経過	【公民館だよりに掲載】毎月 【受付申込】事前申込み	PR方法	公民館だより掲載				
		受付方法	春日部市第6地域包括支援センターに電話または窓口にて申し込み				
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者		講師・助言者の職名 氏 名	
回数	総時間数			男 計	女 計		合計
4/13・5/11・ 6/1・7/6・ 10/5・11/2・ 12/7・1/4	13:00～15:00	オレンジカフェ (毎月第1火曜日)	交流	35	289	324	春日部市第6包括 支援センター
4/22・5/27・ 6/24・7/29・ 8/26・9/30・ 10/28・ 11/25・ 12/23・1/27・ 2/24・3/24	13:30～14:30	介護者交流サロン「福」 (介護者どうしの交流) (毎月第4木曜日)	交流	10	89	99	春日部市第6包括 支援センター
20回	28時間			45	378	423	
企画運営上の工夫	① 認知症やその家族、地域住民や専門家が気軽に集い交流するきっかけとなり、脳トレや小物づくりなど毎回異なる企画を設けることにより、参加者が楽しく参加できるよう工夫した。 ② 毎月定期的に開催することにより、参加者が外出するきっかけづくりを行った。						
成果 参加者の 声 など	① 継続して参加する方のほか、新規の参加もあり、毎回盛り上がりを見せている。 ② 毎回継続して参加する方が多く、同じ経験を共有する仲間に出会える場となっている。						
課題と展望	今後も、春日部市第6地域包括支援センターと協力し、企画内容を充実させていく。						

事業名 テーマ	高齢者安心安全教室	対象	高齢者	定員	定めず	
ねらい	高齢者が安全に生活していくための基礎知識を身につける					
協力機関 及び団体	社会福祉協議会武里団地福祉ニーズ 対策委員会	特色 位置づけ		SDGs の目 標No	3・11・17	
会場	武里大枝公民館 講堂	教材 資料等				
実施ま での経 過	新型コロナウイルス感染症拡大防止の ため中止	PR方法				
		受付方法				
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者		講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男 計	女 計	
0回	0時間					
企画運営上 の工夫						
成 果 参加者の 声 など						
課題と展望						

事業名	埼玉県東部地域日本語教室合同 外国人による日本語スピーチ大会		対象	地域住民		定員	各50人	
ねらい	地域在住の外国人が日頃感じていること、日本の好きなどころなど、様々なテーマでスピーチをすることにより、地域の日本人の外国人への理解や交流を深める。							
協力機関 及び団体	埼玉県東部地域日本語教室合同 外国人による日本語スピーチ大会 実行委員会		特色 位置づけ			SDGs の目 標No	10・11	
会場	武里大枝公民館 講堂		教材 資料等					
実施までの経過	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止		PR方法	公民館だより掲載				
			受付方法	電話にて申込み先着順				
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計		
8月29日(日)	14:00～16:00	埼玉県東部地域に居住する外国人が、日頃感じていることや日本の好きなどころなど、日本語でスピーチを行う。		中止				
2月27日(日)	14:00～16:00							
0回	0時間							0
企画運営 上の工夫	・武里日本語教室の協力を得て、地域に居住する外国人の参加について呼びかけを行った。 ・実施にあたっては、実行委員会を中心に当日の運営及び管理を行う。							
成 果 参加者の 声 など								
課題と展望	武里団地には外国人の居住が多くいることから、引き続き実施に向けて調整を行っていく。							

事業名	一知的書評合戦ービブリオバトル		対象	(発表者)中・高校生及び一般(観客)地域住民		定員	(発表者)3名(観客)15名
ねらい	中高生を中心とした発表者が好きな本を5分で紹介し、観客の投票により優勝本を決定することにより、ゲーム感覚でプレゼンテーション及びディスカッション能力向上ができる場となり、また地域住民との世代間交流を図ることができる。						
協力機関及び団体	共催:武里図書館		特色 位置づけ			SDGs の目 標No	4
会場	武里大枝公民館 講堂		教材 資料等	武里図書館で準備			
実施までの経過	6月18日(金) 講師依頼 10月20日(水) 打合せ 11月17日(水) リハーサル 11月28日(日) 事業実施		PR方法	公民館だより掲載 (武里図書館)図書館だより掲載			
			受付方法	武里図書館にて事前申込み			
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男 計	女 計	合計	
11月28日(日)	14:00～15:30	ビブリオバトル	鑑賞	6	13	19	武里図書館
1回	1時間30分			6	13	19	
企画運営上の工夫	事前申込み制での参加者の把握や、当日のイス配置を工夫し、参加者同士の密を避けた。部屋ではサーキュレーターを複数台用い換気を効率的に行い、新型コロナウイルス感染防止の対策を行った。						
成果 参加者の声など	中高生だけでなく一般の観戦者を募ることで、質問や感想の意見交換が充実した。また、同年代だけではなく地域の人に見てもらうことにより、プレゼンテーションやディスカッションの充実感などを体感してもらうことができた。						
課題と展望	中高生の参加者募集はPRを工夫する必要がある。近隣の学校に宣伝する、ネットを活用するなど、武里図書館と連携を密にしながら、今後も事業が盛り上げるよう努める。						

